社会医療法人 景岳会 南大阪病院 広報誌

もっと みなみおおさか

地域からよろこばれ、信頼される病院をめざします。

特集
新入医師紹介
ロボット手術センター開設

食道裂孔ヘルニアの豆知識
20名の新人看護師が仲間入り
南大阪病院臨床検査科の
精度管理とISO15189認証
地域医療部紹介
新入医師紹介

職員リレーコラム
登録医紹介
地域医療

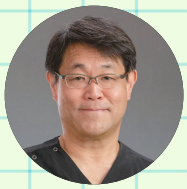
LINE始めました

撮影場所：新潟県見附市 観音山公園

84
2025年夏号

Dr.TAKEMURA

食道裂孔ヘルニアについての豆知識(2)
―検査について―



南大阪病院
外科統括部長
副院長
竹村 雅至

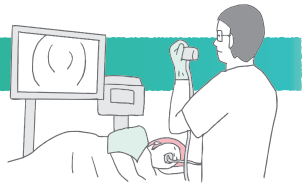
食道裂孔ヘルニアは逆流性食道炎の原因として知られている非常に頻度の高い病気で、特にご高齢の女性の方に多いことが知られています。食道裂孔ヘルニアは、症状として最も多いのは逆流性食道炎の症状ですが、無症状の方も比較的多いという特殊な病気です。この食道裂孔ヘルニアに関する検査は、他の消化管の病気に対して行われる検査と大きな違いはありません。主に行われるのは、レントゲン検査・内視鏡検査・バリウム造影・CT検査です。その他、特殊な検査として、24時間pHモニタリング検査などがあります。

食堂裂孔ヘルニアに対して行われる検査

❶レントゲン検査

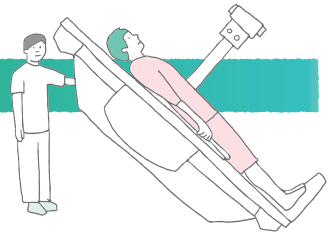
大きな食道裂孔ヘルニアの方ではレントゲンだけで診断できる場合があります。

❷内視鏡検査



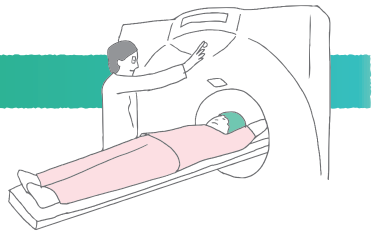
食道裂孔ヘルニアの診断だけでなく、合併する逆流性食道炎も診断できます。その他、食道がんや胃がんの診断も行える特徴があります。

❸バリウム造影



バリウムを飲み、食道や胃の撮影を行って食道や胃の形を確認することで、食道裂孔ヘルニアの有無や程度がわかります。胃から食道へバリウムの逆流が見られると、胃液の逆流が起こりやすいと考えられます。ただし、軽度の食道裂孔ヘルニアでは、わかりにくいことがあります。

❹CT検査



食道裂孔ヘルニアの診断では必須の検査ですが、小さな食道裂孔ヘルニアでは診断困難なことがあります。

❺24時間pHモニタリング検査

食道裂孔ヘルニアに合併する逆流性食道炎の胃酸逆流の程度を診断する特殊な検査です。施行できる施設は当院を含め少数です。

これらの検査により食道裂孔ヘルニアの程度・形が診断できます。

食道裂孔ヘルニアでは症状のある方に対してはまず内科的治療を行いますが、症状の改善が無い方には外科的治療の適応となります。当院外科は2017年より食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡手術を開始し、日本でも最も手術件数の多い施設です。当院外科では食道裂孔ヘルニアの症状が持続する方に対して、外科的治療について詳しく説明させていただきます。

KANGOBU NEWS

20名の新人看護師が仲間入り!

今年、南大阪病院には20名の新人看護師が仲間入りしました。看護師国家試験を突破した彼らは、医療現場における新たなチャレンジに向けて、一歩ずつ成長を重ねています。

入職後、最初に受けるのが「新規採用者オリエンテーション」です。主任教育委員会が中心となり実施する6日間の研修では、病院、看護部、社会人としての基礎、業務の基本を学びつつ、実践を交えたトレーニングやグループワークを通じて、チーム医療の重要性を体感します。同時に、同期との絆を築く機会にもなり、仲間と支え合いながら配属後の業務に臨む準備が整えられます。

また、6月からスタートする夜勤では、先輩看護師の指導のもとで夜間の患者対応や緊急時の判断力を身につけます。慣れない環境の中でも、経験を重ねることで、表情や立ち振る舞いから自信を感じられるようになります。

南大阪病院では、新人看護師が安心して働き、成長できる環境づくりを大切にしています。患者さんやスタッフがすぐに新人と分かるよう、ピンク色の名札を用意し、病院全体で新人を見守っています。「ピンクの名札」をつけた看護師を見かけた際には、ぜひ温かい言葉や眼差しをお寄せいただければ幸いです。

これからも南大阪病院は、患者さんが安心して入院生活を送っていただけるよう、新人看護師の育成に努めていきます。

患者さんの信頼に応える

―南大阪病院臨床検査科の精度管理とISO15189認証―

南大阪病院の臨床検査科では、患者様に信頼性の高い検査結果を提供するために、徹底した精度管理体制を構築しています。
精度管理には、「内部精度管理」と「外部精度管理」の2つの管理手法があります。

内部精度管理　自施設内で行う品質評価

「内部精度管理」とは、検査の精度を維持・向上させるために、検査室内で日常的に行われる一連の管理業務です。具体的には、検査を行う分析装置の定期的な点検に加え、目標値が設定された精度管理物質の測定を実施しています。これにより、検査結果の信頼性を常に確保し、精度管理物質が目標値を逸脱した場合には、速やかに問題点を特定し、適切な対応を行うことで、誤った検査結果の報告を未然に防ぎます。

外部精度管理　自施設と他施設を比較する品質評価

「外部精度管理」とは、複数の医療機関と共通の評価用検体を測定し、自施設の検査結果にズレがないかを客観的に把握・確認する仕組みです。当院は、第三者機関が実施する外部精度管理調査として、日本医師会や日本臨床衛生検査技師会が中心となって行う調査へ積極的に参加しています。また、他施設との互換性を高めるため、標準化された検査試薬を積極的に採用しています。

ISO15189認証取得・・・国際基準に裏打ちされた品質保証

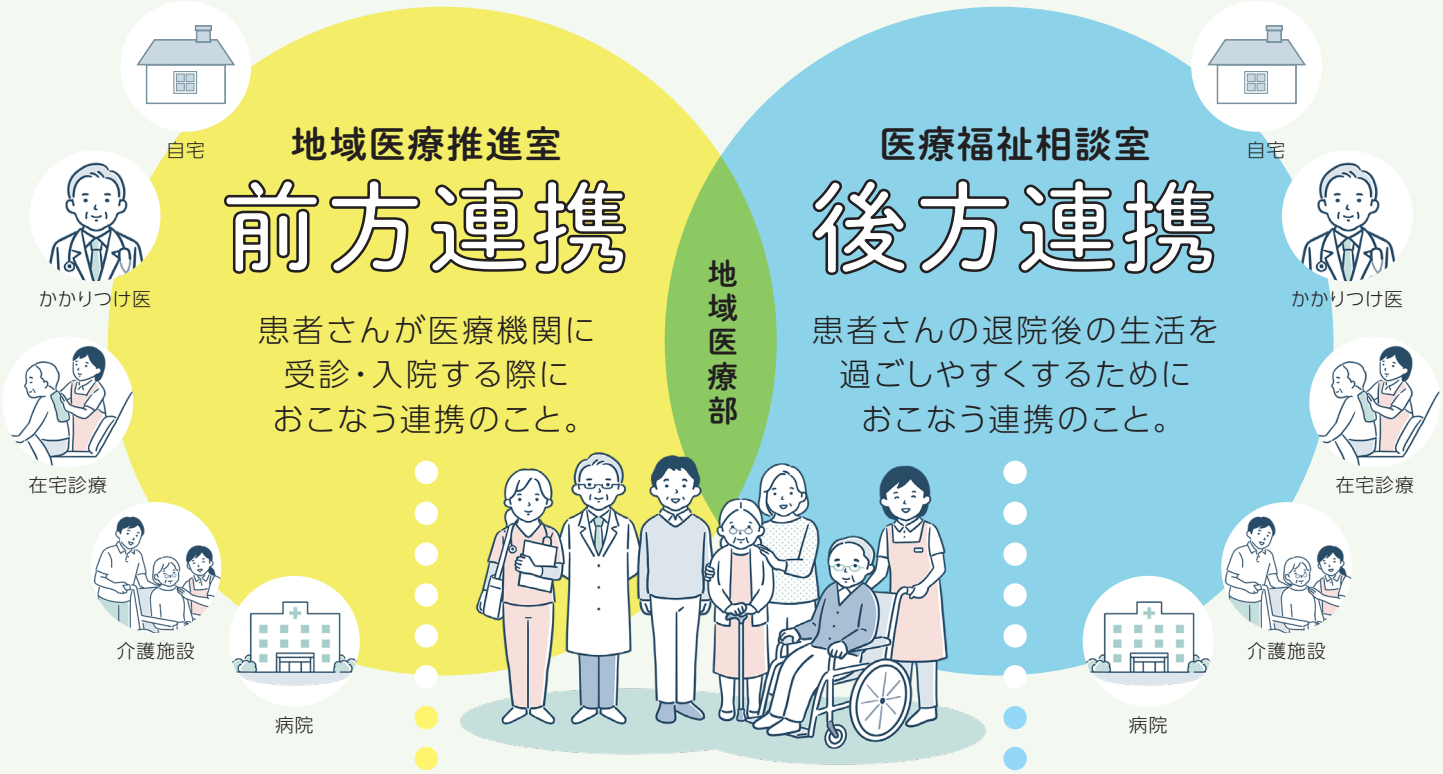
当院は2024年8月にISO15189認証を取得いたしました。これは、国際規格「ISO15189(臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項)」に基づき、当院の臨床検査室の能力が、世界的な品質基準に準拠し、質の高い検査を提供できることを意味します。大阪府内では、5つの大学病院と13の病院がこの認証を取得していますが、当院は病床数、臨床検査技師数ともに最も少ない病院の一つです。スタッフ全員が継続的な改善活動を通じて、品質と安全性の向上、そして患者様からの信頼性の向上に日々努めています。

南大阪病院 臨床検査科：宮森

地域医療部紹介

地域医療部では病院経営戦略に則り、2025年4月1日に大阪府から認可を受けた地域医療支援病院としての役割を果たすため、地域医療機関の先生方、保健・福祉関連の担当者と連携を図り、安全で質の高い医療を適切に提供するための窓口として業務を行っております。

地域医療部の役割は、大きく「前方連携」と「後方連携」の2つに分けられます。



地域医療促進室の役割(前方連携)

- 紹介患者の診察・入院・検査予約調整
- 紹介元医療機関へ結果報告・情報提供と管理
- 地域医療機関との連絡調整
- 紹介元医療機関と当院主治医との面談調整
- 地域医療連携に関するデータ管理
- 広報誌の作成
- 研修会等企画運営
- 開放型病院登録医の管理
- セカンドオピニオン外来予約調整

当院の地域医療部は部長の中谷守一先生の元、前方連携業務として地域医療推進室6名(事務担当4名、渉外担当2名)で構成しており、大阪市南部地区の医療機関からの**紹介患者をスムーズに受け入れするための調整や、地域医療機関の先生方と当院をつなぐ連携の窓口としての役割**を担っております。

医療福祉相談室の役割(後方連携)

- 介護保険や福祉制度に関するご説明・ご相談
- 退院後のご相談
  (在宅医療・転院先・施設入所など)
- 医療機関や関係施設への連絡調整
- 医療費についてのご相談

医療福祉相談室6名(医療ソーシャルワーカー6名)で構成されており、**外来通院中または入院中の患者様やご家族からの社会的・経済的・心理的問題等へのご相談に応じ、問題解決へのアドバイス、解決、調整を行い、安心して療養生活が過ごせるよう支援**をしております。また、必要に応じて、**退院調整を行い、医療・福祉・介護等の関係機関と連携を図り、在宅療養や転院に向け調整**し、切れ目のない医療サービスの提供を行っております。

これらに加えて、「がん相談支援センター」としてがんの治療や療養についての様々な疑問や心配に関してもご相談をお受けしております。

TOPICS

南大阪病院 外科統括部長 副院長
竹村 雅至

ロボット手術センターが開設されました

手術支援ロボットDaVinciは、外科医が高画質で立体的な3Dハイビジョンの手術画像を見ながら人間の手の動きを正確に再現し、それを超える可動性を有する鉗子を用いた手術を可能とする最新鋭の手術機器です。ロボット特有の機能により従来不可能とされていた精緻な手術操作が可能になります。手術支援ロボットによる手術は、外科医がロボットを操作して行う手術であり、ロボットだけが行う手術ではありません。また、従来の腹腔鏡手術より手術時間は若干延長するものの出血量が少なく、臓器機能温存が可能で術後の回復が早い利点があるとされています。このため、今後さらに多くの手術がロボット支援手術の適用となり、ロボット支援手術が主流になる疾患も増加すると予測できます。

景岳会南大阪病院では、2024年1月より手術支援ロボット「DaVinci（ダビンチ）Xi」を使用した手術を開始いたしました。以降、泌尿器科・外科で手術を遂行し、2025年2月に累積100例を突破しました。それに次いで、地域の患者さんにより安全で質の高いロボット支援手術を提供するべく、2025年4月にロボット手術センターを開設しました。ロボット手術センターでは手術に関わる各診療科、麻酔科、看護師、臨床工学技士、その他の医療スタッフとの綿密な連携のもと

1. **各診療科における術式の標準化。**
2. **手術の安全性確立。**
3. **ロボット支援手術に関する教育・人材育成。**
4. **ロボット支援手術の治療成績の検討と検証。**

を行っていきます。

当センターでは現在、泌尿器科・外科が
主に以下の疾患について
ロボット支援手術を実施しています。
【泌尿器科疾患】・前立腺がん
【外科疾患】・直腸がん、結腸がん、胃がん

Intutive社から実績を有する病院として
賞状を贈呈いただきました。

ロボット手術センターに関しては
下記のホームページに
詳しく記載しています。
是非訪ねてみてください。

職員の“あんなコトこんなコト”をリレーで綴る

職員リレーコラム

今回、職員コラムリレーを担当させていただきます。
看護師の西村です。

私は最近、たまたまの3連休があったので人生初の1人旅に行きました！

行先は、ずっと行ってみたかった北海道の札幌・小樽。札幌では、札幌市時計台やニッカウヰスキーの看板を見て、小樽では市場や運河沿いを訪れ、余市ではニッカウヰスキーの蒸留所を見学しました。そして、ラーメンや海鮮丼、ジンギスカン、アイスなど北海道グルメも堪能しました♪

気ままに自由に過ごせるのが、1人旅の魅力！予定もその日の気分次第です。誰にも気を遣わず、〝自分が今してみたいこと。〟を素直に実践できるのがとてもいいところだと思います。

出発するまでは正直、ひとりは不安だし、行こうか行くまいか悩みました。しかし、実際に行ってみたら、北海道の美味しいものを食べることができたり、美しい風景を見ることで北海道に来たことを実感することができました。

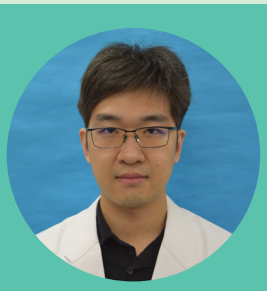
そして、女子1人であったため、飲食店の店員さんがカウンターの一番端の席に案内してくれるなど出会う人の、やさしさに触れることもできました。それらを経験できたことはとても素晴らしく、この時間はとても有意義なものだったと思います。

私自身、1人で何かするよりも友達など他者と一緒にいろんなことを経験し、思い出を共有する方が好きです。しかし、1人でも楽しめる力を身に着けることは、活動の幅が広がり、日常生活をより豊かにしてくれるのではないかと思いました。

新人医師紹介

今年も新しい仲間がやってまいりました！

南大阪病院新入医師をご紹介いたします。皆さま、よろしくお願いいたします♪



病理診断科

【専門領域】
病理学

カトウ マサヒロ
加藤 雅大

【患者さんに向けたメッセージ】

2025年4月より南大阪病院 病理診断科に着任いたしました加藤雅大と申します。病理診断科は病気の診断に特化した診療科です。胃カメラや手術などによって患者さんから採取された検体を調べ、病気の診断を行っており、主治医による治療方針の決定において重要な役割を担っています。皆様のため、迅速で正確な診断を心がけてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

形成外科

【専門領域】
形成外科一般/創傷外科/熱傷

タニハタ アツシ
谷畑 充梓

【患者さんに向けたメッセージ】

初めまして、2025年4月より南大阪病院形成外科に赴任いたしました谷畑 充梓と申します。これまで、大阪公立大学医学部附属病院、八尾徳洲会総合病院、大阪市立総合医療センターなどで形成外科全般の診療に携わってきました。顔のけがややけど、皮膚のできもの、傷あと、眼瞼下垂、床ずれ、乳房の再建など、見た目や皮膚・体表のことで気になることがあれば、どんな小さなことでも遠慮なくお話しください。患者さんのお気持ちに寄り添いながら、丁寧な診察と治療を心がけています。これから、住之江のみなさまのお力になれるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

整形外科

【専門領域】
一般整形外科/外傷

タナカ ヒロシゲ
田中 宏茂

【患者さんに向けたメッセージ】

よろしくお願い申し上げます。

整形外科

【専門領域】
一般整形外科/外傷

ワダ ヒロシ
和田 浩伺

【患者さんに向けたメッセージ】

2025年4月より南大阪病院に赴任しました和田 浩伺と申します。お困りのことがあればお気軽にご相談下さい。

泌尿器科

【専門領域】
泌尿器一般

イシザキ コウタ
石崎 功汰

【患者さんに向けたメッセージ】

2025年4月より南大阪病院 泌尿器科に赴任いたしました石崎功汰と申します。大阪公立大学卒業後、兵庫県立尼崎総合医療センターにて初期研修を行い、大阪公立大学泌尿器科へ入局しました。大阪公立大学医学部附属病院、市立伊丹病院で勤務してきました。日頃より低侵襲で安全な手術第一としております。地域の患者様のため精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

外科

【専門領域】
一般外科

アライ ユウキ
新井 勇輝

【患者さんに向けたメッセージ】

2025年4月より南大阪病院 外科に赴任しました新井 勇輝と申します。これまで培った知識、技能を糧に患者さまを第一に考えた医療を提供していく所存です。低侵襲で安全な手術を大切に、より良い治療を行いたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

泌尿器科

【専門領域】
一般泌尿器科

オカモト ナナミ
岡本 七海

【患者さんに向けたメッセージ】

2025年4月より南大阪病院 泌尿器科に赴任しました岡本 七海と申します。患者様に寄り添いより良い医療を提供できるよう務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

皮膚科

テラシマ ユリカ
寺嶋 友梨香

【患者さんに向けたメッセージ】

2025年4月より南大阪病院 皮膚科に就任いたしました寺嶋友梨香と申します。地域の皆様のお役に立てるよう頑張ってまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

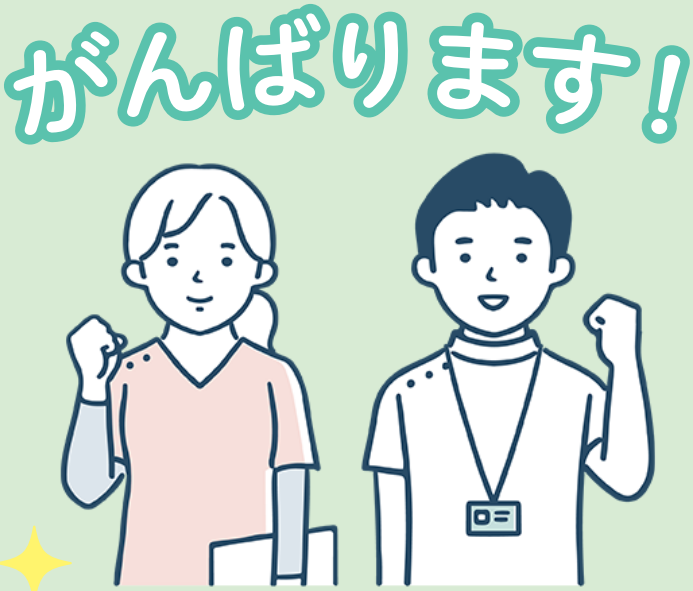
内科

【専門領域】
内科/糖尿病内科

カドワキ チサト
門脇 千聡

【患者さんに向けたメッセージ】

2025年4月より南大阪病院 内科に赴任いたしました。これまで培った知識と技術により、地域に寄り添った医療を提供いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。



登録医紹介

イリョウホウジン イトウジイイン
医療法人 糸氏医院

- 内科
- 外科
- 婦人科
- 放射線科

理事長 糸氏 英一郎

当院は、1964年の開業以来、地域の皆様の「かかりつけ医」として信頼と実績を築いてまいりました。

特に、循環器、糖尿病、外科（整形外科）については、大阪大学や関西医科大学等と連携し専門医を招き、レベルの高い医療をめざしております。

また、大阪市がん検診実施医療機関として、肺がん、胃がん（X線・内視鏡）、大腸がん、子宮がん、乳がんの検診を行っており、CT、マンモグラフィーなど高度医療機器も備え、がんの早期発見を目指し検診についても積極的に取り組んでおります。

これからも身体のことなら何でも相談できるホームドクターとして、皆様のお役に立てればと考えております。

	月	火	水	木	金	土	日・祝
診察時間 9:00〜12:30	●	●	●	●	●	●	/
診察時間 17:00〜19:30	●	●	●	/	●	/	/

●・・・診察

ホームページはこちらから

医療法人 糸氏医院
☎06-6681-2772
〒559-0016
大阪市住之江区西加賀屋1丁目1番6号

●地下鉄四つ橋線「北加賀屋駅」から徒歩3分
※医院西どなりに駐車場があります。

ハマサキイイン
浜崎医院

- 内科
- 胃腸科
- 特別養護老人ホーム
- 介護老人保健施設

院長 濵﨑 憲夫

肺炎、喘息、アレルギー疾患、認知症、高血圧症・糖尿病等の生活習慣病などはもちろん、胃腸科を専門にしていますので、胃・十二指腸潰瘍、胃炎、胃癌、大腸癌、胆石症、肝炎、膵炎に至るまで幅広く対応しています。

胃腸疾患では内視鏡検査に加えて64マルチスライスCTもあり、大腸ファイバーが困難な方でも大腸CT検査が可能です。

当院は介護老人保険施設を4施設、特別養護老人ホーム（全620床）をグループとして有し、院長が施設長を兼任しており、介護相談も受け付けております。また送迎サービスも実施しておりますのでお気軽にご利用ください。

高齢になっても住み慣れた地域で、ご自宅で、安心して暮らせるように患者様や利用者様に寄り添います。病気や介護のご心配事やご不安事、ご相談を承ります。

	月	火	水	木	金	土	日・祝
診察時間 9:00〜12:00	●	●	●	●	●	●	/
診察時間 17:00〜19:00	●	/	/	/	●	/	/

●・・・診察

ホームページはこちらから

浜崎医院
☎06-6681-0361
〒559-0014
大阪市住之江区北島3丁目6-27

●大阪メトロ四つ橋線「住之江公園」駅から徒歩15分
●南海本線「住之江」駅から徒歩15分
●市バス住ノ江線「北島2丁目バス停」から徒歩3分

公開医療講座 開催のご報告

2025年4月12日（土曜日）に外来棟1階多目的ホールで公開医療講座が開催されました。

今回のテーマは「受けなアカン、がん検診!　知らんけど（は無しよ!）」で南大阪病院 特別顧問/大阪市立大学名誉教授・医学博士 荒川 哲男 が担当でした。

今回の講演では、日本は世界トップクラスの「がん大国」であり、その中でも大阪の平均寿命、健康寿命が全国平均と比較して短く、更に平均寿命と健康寿命の差が大きいこと、その差が大きい理由の1つががんであることの解説がありました。また、死亡数が多いがんとして「大腸」や「胃」が多く、がんにかかることは防ぎにくいですが、がんで死ぬことは防げるはずであり、検診による早期発見が死亡率低下に大きく寄与することを実体験も含めて解説がありました。一方で、大阪ではまだまだがん検診受診率が低いこと、低い理由を深堀することで市民の皆様の不安を取り除くことで早期のがん検診受診をお勧めしました。

最後に住之江区で生まれた「便潜血免疫検査2回法」や便中ピロリ菌検査のご紹介、検査から診察までの流れを紹介し、簡便に検診を受診していただけることをテイクホームメッセージとしました。

当日は約50名と非常に多くの方にご参加頂き、熱心に聴講されておりました。また、質疑応答の時間では患者様の実体験も含めて多数の質問があり、盛況な会となりました。

参加費・申し込み 不要

＼公開医療講座のご案内／

「肺がんは怖い病気?」～ここまで進歩した肺がん治療～

【日時】2025年8月9日（土）14～15時
【講師】南大阪病院 呼吸器内科 平野勝也医師
【場所】南大阪病院 外来棟 1階 多目的ホール

事前申し込みは必要ありません、直接会場へお越し下さい。
日程および内容は急な変更もありますので、その際にはご了承ください。皆さまのご参加をお待ちしています。

病院広報誌「もっとみなみおおさか」ご意見・ご感想募集

社会医療法人 景岳会 南大阪病院 広報誌「もっとみなみおおさか」のご意見・ご感想や次号以降の掲載内容について募集しております。皆様のご意見をふまえてより良いものになればと思っております。ぜひQRコードから簡単なアンケートにご協力をお願いいたします。

アンケートは
こちらから

バックナンバーは
こちらから
ご覧いただけます。

南大阪病院の公式LINEができました！

上のQRコードから

ぜひ、お友達登録をお願いします。

南大阪病院の理念

地域からよろこばれ、信頼される病院を目指します。

基本方針

1.患者様の意志と権利を尊重し、十分な説明と納得と根拠に基づく医療を提供します。

2.常に研鑽につとめ、安心、安全で質の高い医療を提供します。

3.地域の中核病院として、他の医療期間との密接な連携をはかります。

4.医療を通じて、社会貢献と職員の満足をはかるべく健全な財務体質を構築します。

看護部の理念

地域医療の中心的病院としての使命と役割を自覚し、
地域の皆様と社会のニーズに対応できる看護を実践します。

基本方針

1.患者様の命の尊厳と人権を尊重します。

2.安全で質の高い看護を実践します。

目標

1.説明と納得に基づく患者様中心の看護を実践します。

2.知識と技術を磨き、豊かな人間性を有する看護職を育成します。

3.経営への参画意識を高め、効率的な看護業務を遂行します。

4.職員満足度高まるよう職場環境の充実を図ります。

患者様の権利と義務

患者様の権利を尊重し、インフォームドコンセント（充分な説明と納得）と自己決定権を大切にした患者様本位の医療を提供していくために、当院とひとりひとりの患者様は、以下のことを確認し合います。

●患者様は、人間としての尊厳を尊重されながら医療を受けることができます。

●患者様の医療上の個人的な秘密は守られます。

●患者様は治療、看護の内容及び病状経過などについて、充分な説明と必要な情報の提供を受け納得のうえ自分の意思で医療を選ぶことができます。

●患者様は研究途上にある医療を受ける場合、前もって充分な説明がおこなわれます。

●患者様はお互いの療養環境を守るために、定められた諸規則を守る義務があります。

社会医療法人景岳会
南大阪病院

ホームページは
こちらから

住所 〒559-0012
大阪市住之江区東加賀屋 1-18-18

TEL 06-6685-0221 FAX 06-6685-5208

受付時間

平日	午前	8:30～12:00
	午後	12:00～16:00
土曜日	午前	8:30～12:00

※日曜日・祝日は休診
※曜日によって診療案内・時間が変わりますので、
詳しくは窓口および外来担当表でご確認ください。

季刊誌：「もっとみなみおおさか」第84号
2025年7月1日発行

発行所：社会医療法人 景岳会 南大阪病院

発行責任者：南大阪病院 広報委員会委員長 竹村雅至

日本医療機能評価機構
認定第 JC477 号

編集後記

広報委員会委員長の竹村雅至です。広報委員会に関わらせていただき、1年以上が経過しました。私が関わった広報誌『もっとみなみおおさか』も5巻目になりますが、その間に広報誌は大きく変化しました。今後も読みやすく、手に取って見ていただけるような広報誌を目指し作成に関わりたいと思っております。

広報委員会 委員長 竹村雅至